eastspring investments

交付運用報告書

イーストスプリング・インドネシア株式オープン

追加型投信／海外／株式

第12期（決算日：2015年11月12日）

作成対象期間（2015年5月13日～2015年11月12日）

第12期末（2015年11月12日）	
基準価額	8,503円
純資産総額	19,027百万円
（2015年5月13日～2015年11月12日）	
騰落率	△15.7%
分配金合計	0円

（注）騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、「イーストスプリング・インドネシア株式オープン」は、2015年11月12日に決算を行いました。
当ファンドは、主としてインドネシアの金融商品取引所に上場されている株式を主な投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
当期につきましてもこれに沿った運用を行ってまいりました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜わりますよう、お願い申し上げます。

当ファンドは、信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

＜閲覧方法＞
右記〔お問い合わせ先〕ホームページアドレスにアクセス⇒上部「運用状況」のタブを選択⇒「運用状況一覧」ページを表示⇒当ファンド記載の中にある「運用報告書（全体版）」を選択

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

〔お問い合わせ先〕

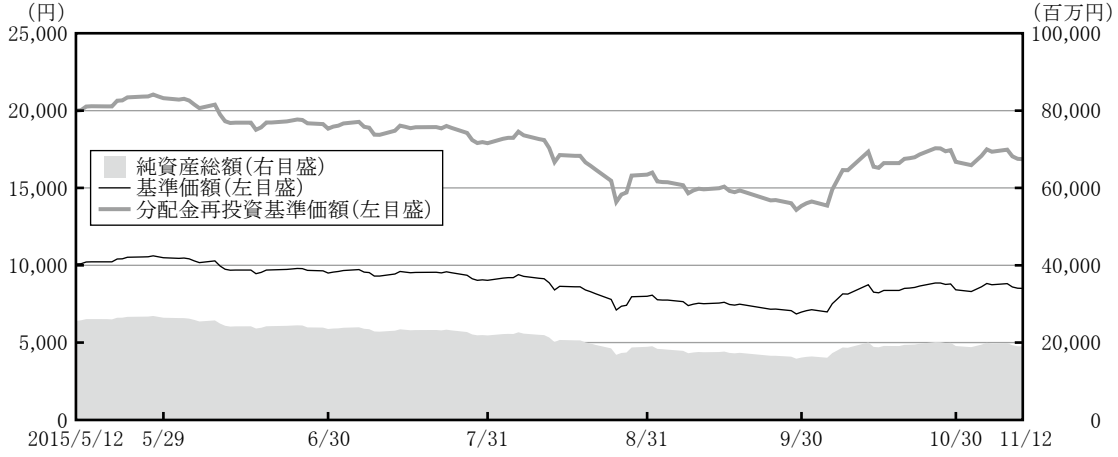
電話番号：03-5224-3400
（受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで）

ホームページアドレス：http://www.eastspring.co.jp/

〒100-6905
東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

運用経過

当期中の基準価額等の推移について（第12期：2015年5月13日から2015年11月12日まで）



第12期首	10,088円
第12期末	8,503円（既払分配金0円）
騰落率	△15.7%（分配金再投資ベース）

（注1）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注2）分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

基準価額の主な変動要因

インドネシア株式市場は、2015年8月の中国人民元の実質的な切下げをきっかけに投資家のリスク回避姿勢が強まり急落しました。その後も中国の景気減速懸念や米国の利上げ観測の高まりから、9月末にかけて通貨ルピアが大幅に下落したため、基準価額は下落傾向となりました。

10月に入り米国の年内利上げ観測が後退したことや、インドネシア政府から相次いで発表された景気刺激策が好感され、株式、為替ともに上昇となり、基準価額は持直し傾向となりました。

1万口当たりの費用明細

項目	当期 2015/5/13 ～2015/11/12		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	63円	0.722%	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、8,735円です。
(投信会社)	(26)	(0.299)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(36)	(0.407)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	1	0.010	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(0)	(0.002)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他1)	(0)	(0.005)	目論見書及び運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
(その他)	(0)	(0.000)	信託管理事務にかかる手数料
合計	64	0.732	

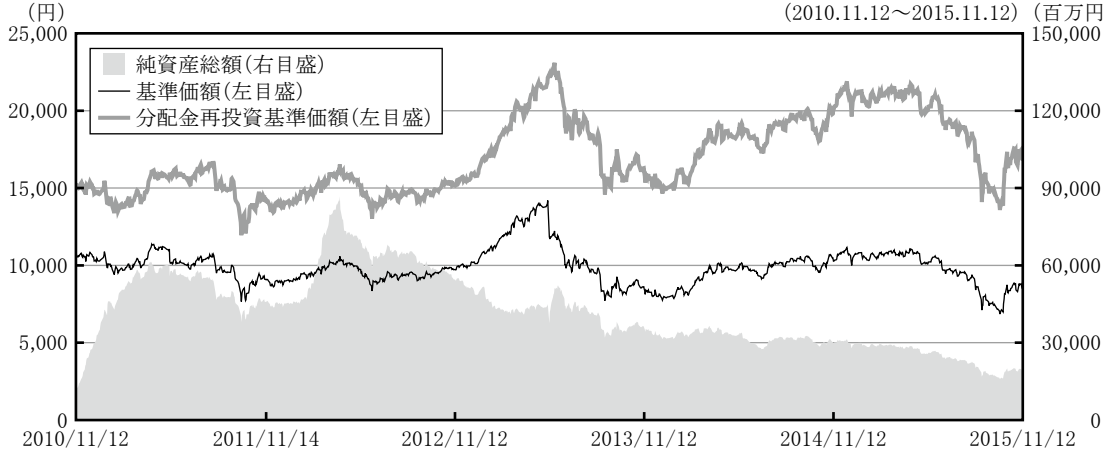
(注1)期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2)各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3)各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4)各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注1)分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2)分配金を再投資するかどうかについてはお客様が利用するコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

＊当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

決算日	2010/11/12	2011/11/14	2012/11/12	2013/11/12	2014/11/12	2015/11/12
基準価額 (円)	10,755	9,065	9,738	8,474	10,271	8,503
期間分配金合計(税込み) (円)	－	1,000	0	2,500	400	100
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	－	△7.5	7.4	5.4	25.9	△16.4
純資産総額 (百万円)	12,043	45,765	54,472	35,739	29,476	19,027

投資環境について

〇海外株式市況

インドネシア株式市場は当期初から下落傾向となりました。米国の利上げ観測を背景とした通貨ルピア安に加え、中国の景気減速懸念、インドネシアの景気や財政見通しに対する懸念などから株式市場は上値の重い展開となりました。2015年8月には中国人民元の実質的な切下げをきっかけに中国経済への懸念が高まって世界的に株安となる中、インドネシア株式市場も急落しました。その後も9月末にかけて米国の早期利上げ観測などを背景に通貨ルピアが大幅下落となり、株価は軟調に推移しました。しかし、10月になると米国の年内利上げ観測が後退し、インドネシア政府による一連の景気刺激策が好感されて、株式市場は大型株を中心に大幅上昇となりました。

〇為替市況

インドネシアルピアは、米国の利上げ観測を背景としたドル高傾向から期を通じて軟調に推移しました。特に2015年8月以降は投資家のリスク回避姿勢が強まり、海外投資家による債券、株式市場からの資金流出なども見られ、対円、対米ドルともに大幅に下落しました。

〇国内債券市況

10年国債利回りは2015年6月に米独の大幅な金利上昇を受けた海外投資家による持ち高調整の売りが見られ上昇（価格は下落）しました。しかし、その後は中国の景気減速懸念から世界的に投資家のリスク回避姿勢が強まり、債券市場で国債を買う動きが優勢となり、利回りは低下（価格は上昇）しました。

ポートフォリオについて

〇当ファンド

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ － インドネシア・エクイティ・ファンド（以下「インドネシア・エクイティ」ということがあります。）の組入比率を高位に保つよう運用しました。

〇インドネシア・エクイティ

主としてインドネシアの金融商品取引所に上場されている株式を主要投資対象として、企業の本質的な価値を重視したバリュー投資を基本とし、ボトムアップ・アプローチに基づく銘柄選択により、中長期的な超過収益の獲得を目指した運用を行いました。当期はタバコ株、大手不動産株の保有などがプラスに寄与した一方で、大手銀行株、公益株の保有などがマイナスに作用しました。

〇イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ｉ（適格機関投資家向け）

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるBofAメリルリンチ国債インデックス（1－10年債）を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。デュレーションを概ね長めに維持し、長期の債券の金利低下が大きかったことからパフォーマンスにプラスに寄与しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークを設けておりません。

分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきました。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳　（1万口当たり、税引前）

項目		第12期
		2015年5月13日 ～2015年11月12日
当期分配金	（円）	－
（対基準価額比率）	（%）	－
当期の収益	（円）	－
当期の収益以外	（円）	－
翌期繰越分配対象額	（円）	635

（注1）「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注3）－印は該当がないことを示しています。

今後の運用方針について

○当ファンド

主要な投資対象の一つであるインドネシア・エクイティの組入比率を高位に保つことを基本とします。

○インドネシア・エクイティ

インドネシアの2015年7－9月の実質国内総生産（GDP）成長率は前年同期比＋4.7%と3期連続で5%を下回りました。消費や輸出の伸び悩みが景気減速の主な要因となった一方で、政府の予算執行の加速により投資は改善の動きが見られます。2015年10月の消費者物価指数（CPI）上昇率は前年同月比＋6.25%と前月の同＋6.83%から鈍化しました。2014年末の補助金の撤廃の影響は2015年末に剥落する見込みで、インドネシア中央銀行（BI）は2015年末にかけて、CPI上昇率が目標レンジ内の4%あたりに落ち着くものと見ています。今後も中国景気の先行きや、米国の利上げ時期、為替の動向など市場を取り巻く環境については注意が必要です。運用担当者は、市場の調整局面はファンダメンタルズが堅固な企業の株式を割安な水準で組み入れる好機と考えています。業種別では、今後も高い成長性を期待して銀行や不動産の組入比率を高めに維持する方針です。生活必需品については、現状は割高との見方を継続しています。

○イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ｉ（適格機関投資家向け）

今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行い、ベンチマークであるBofAメリルリンチ国債インデックス（1－10年債）を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。日銀による追加緩和期待から国債利回りは低位で安定的に推移するものと思われます。

お知らせ

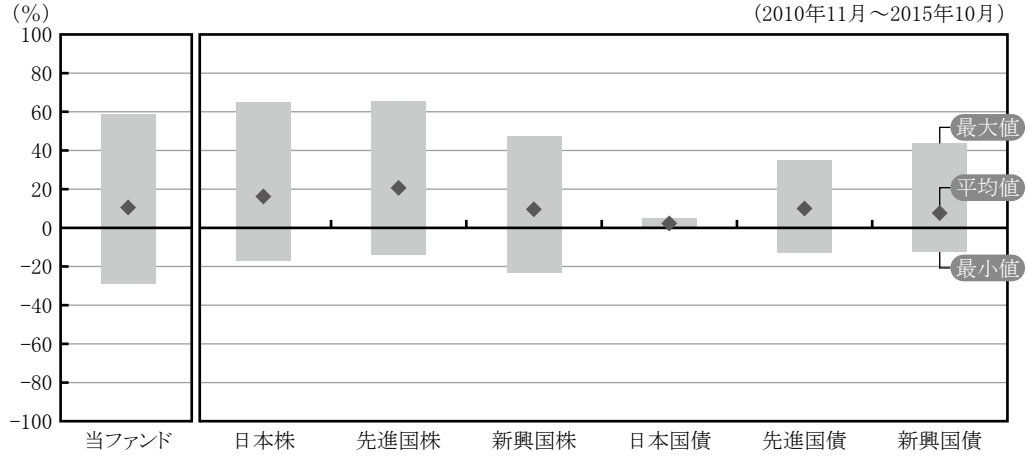
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	原則として無期限(2009年11月30日設定)
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてインドネシアの金融商品取引所に上場されている株式に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ － インドネシア・エクイティ・ファンド」の投資証券（米ドル建て）およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ｉ（適格機関投資家向け）」の受益証券（振替受益権を含みます。）を主要投資対象とします。
投資制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時（毎年5月12日および11月12日。休業日の場合は翌営業日。）に、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないことがあります。

（参考情報）

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（%）	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	10.5	16.2	20.6	9.6	2.3	10.0	7.6
最大値	58.4	65.0	65.6	47.3	4.5	34.9	43.7
最小値	－28.9	－17.0	－13.7	－22.9	0.4	－12.7	－12.4

※当ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように、2010年11月から2015年10月の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。
すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

※ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

＜各資産クラスの指数＞
日　本　株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）
新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）
日本国債：NOMURA-BPI国債
先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）
新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しています。「円換算ベース」は、米ドルベースの指数を当社が円換算したものです。

ファンドデータ

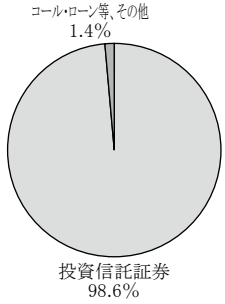
当ファンドの組入資産の内容

○組入ファンド　　（組入銘柄数：2銘柄）

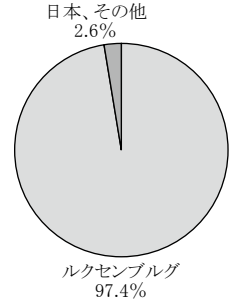
ファンド名	第12期末 2015年11月12日
イーストスプリング・インベストメンツ － インドネシア・エクイティ・ファンド	97.4%
イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ｉ（適格機関投資家向け）	1.2%

（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

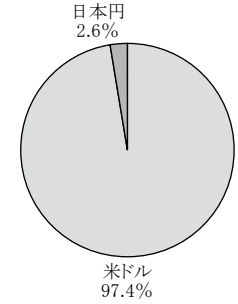
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

純資産等

項目	第12期末 2015年11月12日
純資産総額	19,027,559,252円
受益権総口数	22,377,143,177口
1万口当たり基準価額	8,503円

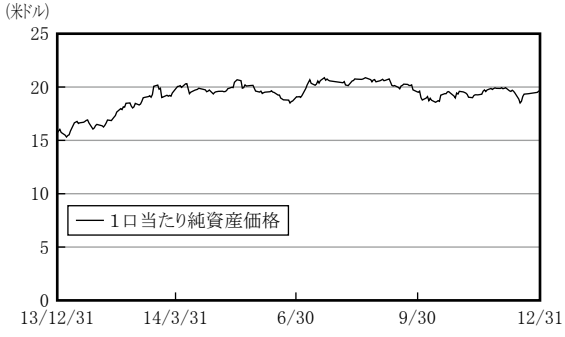
＊当期中において追加設定元本額は1,462,769,458円、一部解約元本額は4,471,661,021円です。

組入上位ファンドの概要

◆イーストスプリング・インベストメンツ – インドネシア・エクイティ・ファンド

（計算期間　2014年1月1日～2014年12月31日）

○基準価額（1口当たり純資産価格）の推移



○組入上位10銘柄

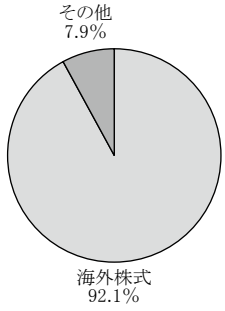
（組入銘柄数:62銘柄）

銘柄名	業種	国・地域	比率
BANK RAKYAT INDONESIA PERSER	銀行	インドネシア	7.7%
BANK MANDIRI PERSERO TBK PT	銀行	インドネシア	6.6%
ASTRA INTERNATIONAL TBK PT	自動車・自動車部品	インドネシア	6.5%
TELEKOMUNIKASI INDONESIA PER	電気通信サービス	インドネシア	6.5%
BANK CENTRAL ASIA TBK PT	銀行	インドネシア	6.0%
BANK NEGARA INDONESIA PERSER	銀行	インドネシア	4.1%
UNILEVER INDONESIA TBK PT	家庭用品・パーソナル用品	インドネシア	4.0%
PERUSAHAAN GAS NEGARA PERSER	公益事業	インドネシア	3.6%
GUDANG GARAM TBK PT	食品・飲料・タバコ	インドネシア	2.7%
SEMEN INDONESIA PERSERO TBK	素材	インドネシア	2.2%

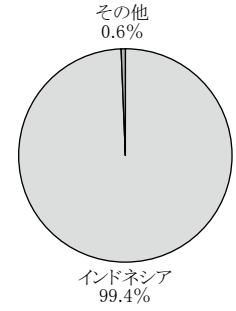
○1万口当たりの費用明細

イーストスプリング・インベストメンツ – インドネシア・エクイティ・ファンドのAnnual Report（監査済み）には、1万口当たりの費用明細が開示されていないため、記載できません。

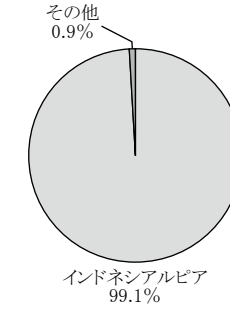
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注1）組入ファンドのデータは、当社で入手可能な時点のもの（監査済みおよび同時点の関連データを含む）を使用しています。
（注2）組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

＊組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

◆イーストスプリング国内債券ファンド(国債)追加型Ⅰ(適格機関投資家向け)

(計算期間　2014年2月26日～2015年2月25日)

○基準価額の推移

○組入上位10銘柄

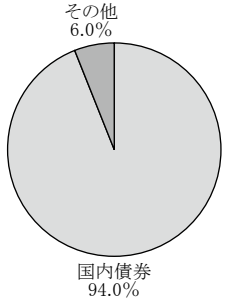
(組入銘柄数:27銘柄)

銘柄名	種別	国・地域	比率
第285回利付国債(10年)	国債	日本	7.6%
第48回利付国債(20年)	国債	日本	5.3%
第63回利付国債(20年)	国債	日本	5.2%
第42回利付国債(20年)	国債	日本	5.1%
第298回利付国債(10年)	国債	日本	4.8%
第311回利付国債(10年)	国債	日本	4.8%
第284回利付国債(10年)	国債	日本	4.7%
第67回利付国債(20年)	国債	日本	4.7%
第69回利付国債(20年)	国債	日本	4.3%
第280回利付国債(10年)	国債	日本	4.2%

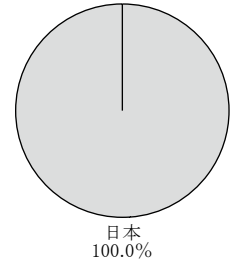
○1万口当たりの費用明細

項目	金額
(a) 信託報酬	23円
(投信会社)	(15)
(販売会社)	(2)
(受託会社)	(6)
(b) その他費用	3
(監査費用)	(3)
合計	26

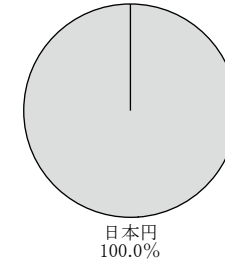
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注1)基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。費用項目の概要および注記については、2ページの「1万口当たりの費用明細」の記載をご参照ください。

(注2)組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2015年2月25日現在のものです。

(注3)組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する割合、国別配分の比率は組入銘柄の総額に対する割合です。

＊組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)でご覧いただけます。

指数に関して

○当ファンドの投資対象である「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ｉ（適格機関投資家向け）」のベンチマークについて

・バンクオブアメリカ・メリルリンチは、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスを何ら変更することなく使用することを許諾しており、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスに関し何らの表明をするものではなく、バンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスまたはそれに含まれ、関連しもしくは得られるデータの適合性、内容、正確性、適時性および完全性について保証するものではありません。また、バンクオブアメリカ・メリルリンチはイーストスプリング・インベストメンツ株式会社によるバンクオブアメリカ・メリルリンチのインデックスの使用に関し一切の責任を負うものではなく、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社またはその商品またはサービスについて何らの支持、是認または推奨をするものではありません。

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

・東証株価指数（TOPIX）は、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数（TOPIX）の商標又は標章に関するすべての権利は株式会社東京証券取引所が有しています。
・MSCI指数（MSCIコクサイ・インデックス、MSCIエマージング・マーケット・インデックス）はMSCI Inc.が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。またMSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
・NOMURA-BPIは、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。
・シティ世界国債インデックスはCitigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスであり、著作権は、Citigroup Index LLCに帰属します。
・JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）はJ.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。